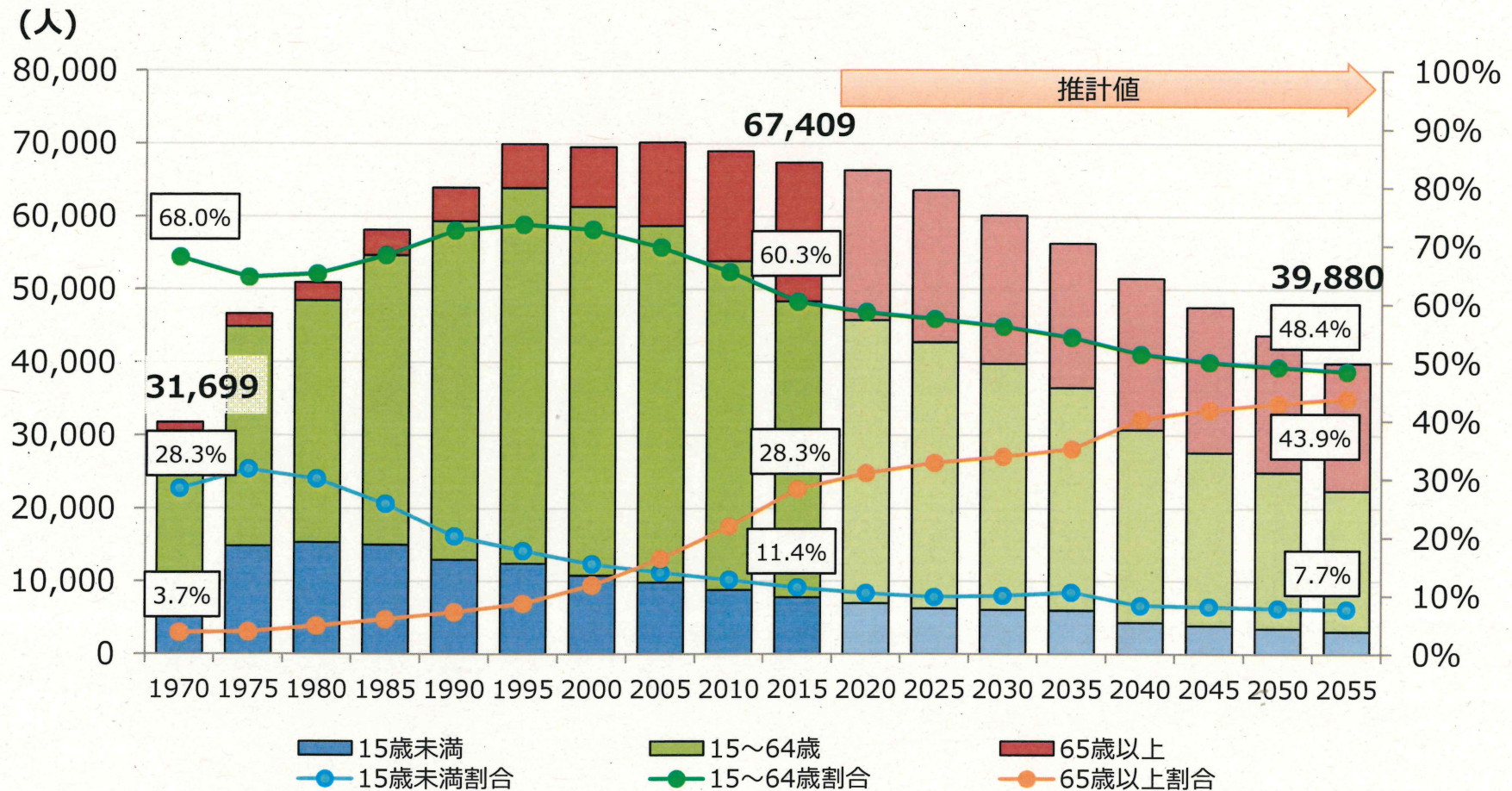


北本市の財政状況について

(1) 北本市の人口の推移・推計

- ・2005年をピークに人口が減少しており、今後も減少が進んでいく見込み。
- ・今後、15～64歳の人口は減り続け、65歳以上の人口は2025年まで増え続ける見込み。



出典：国勢調査（2015年）と、北本市人口ビジョン（2016年）の独自推計結果を参考に作成

第5 今後の見通しと課題及び今後の取組

収支見通しの歳入及び歳出については、歳入では市税収入の減少等から自主財源の大幅な伸びが見込めない一方で、歳出では高齢化に対応するための扶助費等の増加が見込まれます。

このようなことから、今後も引き続き安定的な行政サービスを提供していくためには、従来の概念にとらわれずに、事務事業を取捨選択する視点から、積極的な改善及び見直しを進めていく必要があります。

持続可能なまちづくりを進めるため、現状で考えられる対応策について取り組み、健全な財政を維持していきます。

1 今後の見通しと課題

(1) 市税収入の見通し（令和2年度～令和11年度）

市民税は、個人市民税について生産年齢人口の減少により減収が見込まれるほか、法人市民税について令和元年10月以降の事業年度から税率が引下げとなっていることから、減収となる見込みです。

また、固定資産税及び都市計画税についても、地価は横ばいの状況が続いているものの、評価替えによる既存家屋の経年減点補正や償却資産の減価償却の影響により減収となる見込みです。

